

東北大学加齢医学研究所 生体防御学分野 小笠原康悦教授のグループ

新型コロナウイルス

の論文がScientific Reportsに掲載されました

日本遺伝子研究所の
ssRNAを
用いていただきました!

東北大学 加齢医学研究所 生体防御学分野 小笠原康悦教授のグループの新型コロナウイルスの論文が、Scientific Reports に掲載されました。

2020年10月20日公開 オープンアクセス

Masato Kosuge, Emi Furusawa-Nishii, Koyu Ito, Yoshiro Saito & Kouetsu Ogasawara "Point mutation bias in SARS-CoV-2 variants results in increased ability to stimulate inflammatory responses." Scientific Reports 10.1 (2020): 1-9.

論文のリンク

⇒詳細は[こちら](#)

本研究において、日本遺伝子研究所で合成した ssRNA が、細胞刺激に用いられています。

弊社 ssRNA のページ

⇒詳細は[こちら](#)

NK細胞・T細胞研究の第一人者である小笠原康悦教授は、金属アレルギー研究、腫瘍免疫研究、自己免疫疾患研究にご尽力されています。

東北大学 加齢医学研究所 生体防御学分野のホームページ

⇒詳細は[こちら](#)